

探究活動を充実させよう！

～参考文献が URL だけになっていませんか？～

日本で論文検索するときによく使われるサイトは、CiNii Research (<https://cir.nii.ac.jp/>)、Google Scholar (<https://scholar.google.com/>)、J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/>) 等です。

今回は本や雑誌も併せて検索できる CiNii Research (<https://cir.nii.ac.jp/>) を紹介します。

CiNii Research は、日本の学術論文や書籍、研究データやプロジェクトなど、研究に役立つ学術情報を幅広く探すことのできるサイトです。国内の学術情報を扱う多くのデータベースと連携しており、豊富なデータの中から自分に合った情報を見つけ出すことができます。また、検索結果に付されているリンクから、簡単に本文にアクセスして閲覧やダウンロードできる機能もあります。

CiNii Research のトップページは、検索サイトのようにキーワードを入力する画面があります。効率よく論文を探すためには、調べたいことに関連するキーワードを単語で入力するようにしましょう。文章で入力すると、該当する論文が見つかりにくくなります。探したい論文をピンポイントで見つけるためにも、キーワードはたくさん用意し、単語で入力するように心がけましょう。

「研究データ」「論文」「本」「博士論文」「プロジェクト」といった項目や、「期間」を指定することもできます。検索結果がたくさん表示される場合は探したいテーマに応じて絞り込みましょう。



論文の本文ファイルを手に入れるにはどうすればよいですか？



検索結果一覧の画面、もしくは各論文の詳細画面から、その論文の本文ファイルを手に入れることができます。アクセスできる本文ファイルが存在する場合、下記のようなボタンが表示されます。それぞれが本文ファイルへのリンクとなっており、クリックした先の画面から、本文ファイルの閲覧やダウンロードすることができます。

DOI

① DOIをクリックすると出版者が提供する本文のページが表示される

機関リポジトリ

②機関ディポジトリをクリックすると大学など学術機関の電子アーカイブ・システムに飛んで論文のダウンロード可能



論文を参考文献として表記する場合は、どのように書けばいいのでしょうか？



出典（参考文献）の書き方

① 図書

著者名. 書名. 版表示, 出版者, 出版年, 総ページ数, (シリーズ名, シリーズ数).
(例) 西野精治. スタンフォード式 最高の睡眠. サンマーク出版, 2017, p. 15

② 雑誌論文

著者名. タイトル. 雑誌名. 出版年, 巻数(号数), はじめのページ - 終わりのページ.
(例) 榎原 啓之. 体内時計が刻むリズムと講義中の居眠りの関係を考えてみる. 教育・学生支援センター紀要. 2019, 3, p. 518-550.